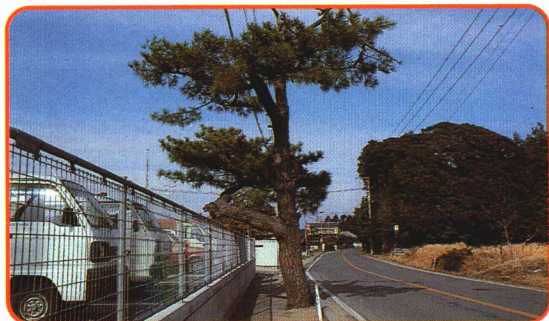


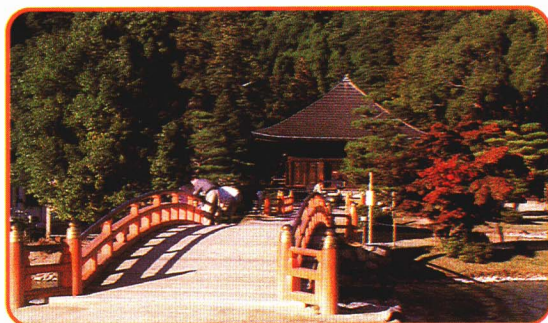
(3) つたえる人うけつぐ人

22-1 むかしのようすをつたえるもの



きゆうこくどう なみきまつ
①旧国道にのこる並木松 (草野)

平藩の時代に植えられたもので、当時の旅人の目を楽しませてくれました。今では、その数が残り少なくなっています。



しらみずあみだどう
②白水阿弥陀堂 (内郷)

今からおよそ800年前の藤原時代の代表的なたて物です。いわき市でただ1つの国宝にもなっています。

22-2 むかしからつづいている行事



①じゃんがらねんぶつ

太鼓と鉦をにぎやかに鳴らしながら、新盆の家の庭先でおどります。市内の各地で行なわれています。



ちごでんがく にしき くまの
②稚児田楽 (錦町・熊野神社)

「ザラッコ」ともよばれ、8人の子どもが主役となって、楽器に合わせておどります。



ししまい
③獅子舞

2匹のオスと1匹のメスの獅子が、豊作をねがって力強くおどります。市内の41ヶ所に伝えられています。



かいてんやぐらぼんおど
④回轉櫓盆踊り (内郷)

炭鉱のさかんな時代から行なわれており、電動の櫓が回転します。